

大熱唱！大盛り上がり！ 町内会サロン活動交流会

9月17日(火)、ジョイ・じょぐらにて、第3回町内会サロン活動交流会が開催され、約70名が集いました。

交流会では、工藤町長や北海道共同募金会の成田事務局長を含む23名が自慢の歌声を披露し、大いに盛り上がりました。

発表者の一人で92歳の蛸崎さんは、力強い歌唱の後、「みなさんも元気に頑張りましたよ！」と参加者たちにエールを送り、そのアツいメッセージに会場内からは大きな拍手と歓声があがりました。

また、今回は抽選会が行われ、用意された6つの景品を狙って自分の番号が当たったことを祈り、当たった方は驚きつつも喜びの表情を見せていました。



輝け！未来の柔道スターたち！ 「オリンピック」選手が指導

9月21日(土)から23日(月)にかけて、町内施設で上ノ国町柔道少年団と東海大札幌校柔道部の合同練習会が行われ、近隣市町の柔道少年団や高校の柔道部なども参加し、約70名が集まりました。

2日目には、ソウルオリンピック柔道日本代表の須貝等(すがいひとし)さんが特別講師として参加され、技の指導や「具体的な夢を持つことの大事さ」についてなど、具体的なアドバイスをいただきました。

世界を制した柔道家の指導に、参加者たちは輝く目で、汗を流しながら練習に取り組みました。



最後まで全力で！！ 河北小学校稲刈り

9月25日(水)、河北小学校の全校児童が稲刈りを行いました。

田植えから約4か月、みんなが泥だらけになりながら植えた稲は立派に育ち、その稲を児童たちは小さな手で鎌を握り、一束ずつ刈っていました。

今回は前回よりも稲の量が多かったようで、刈り進めてもなかなか減っていかず、「今年は去年より稲多いね！」と話しながら、みんなで力を合わせて一生懸命作業を進めていました。

また、刈った稲を乾燥させるために藁で束ねる工程では、苦戦する児童が多く、株式会社MORI FARMの森啓介代表(北海道農業士)や仲間たちに教えてもらいながら諦めずに挑戦し、最後まで全力を尽くした稲刈りとなりました。



函館地区トラク協会が 今年も八重桜を植樹＊

9月25日(水)、中世史跡公園にある夷王山キャンプ場で、函館地区トラク協会が八重桜の植樹を行いました。

この活動は、同協会が環境保全活動の一環として毎年行っているもので、植樹・育成を通して自動車から排出される二酸化炭素を吸収して酸素を放出させ、地球温暖化の防止や空気の浄化などを目指しています。

夷王山キャンプ場での植樹は今回で3回目となり、現在は37本の八重桜が植えられています。

また、今年の春には1回目に植えた八重桜が花を咲かせており、来年以降の春は夷王山キャンプ場がより一層華やかになることが期待されます。

